

2016年2月10日  
第118号  
(Web版第12号)

# 日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会  
JAPANESE ASSOCIATION OF  
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第42回大会開催報告
- II 理事会開催報告
- III 第42回大会総会開催報告
- IV 第43回(2016年度)大会 テーマセッション企画募集
- V 第43回(2016年度)大会 自由報告募集
- VI 第15回「日本犯罪社会学会奨励賞」対象業績の募集
- VII 犯罪学セミナーの開催について
- VIII 日本犯罪関連学会ネットワークの活動について
- IX 各部・委員会報告
- 付 会計資料

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間2回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

## I 第 42 回大会開催報告

日本犯罪社会学会第 42 回大会が、2015 年 11 月 21 日(土)、22 日(日)の 2 日間にわたり、河合幹雄会員を大会実行委員長に桐蔭横浜大学（神奈川県横浜市青葉区）において開催されました。今回も成功のうちに大会を終えることができました。これも会場となった桐蔭横浜大学の関係者の皆さまによるご尽力をはじめ、会員の皆さまのご協力のたまものです。ありがとうございました。

『日本犯罪社会学会第 42 回大会報告要旨集』は、学会ウェブサイトにて 3 月上旬にアップロードされる予定です。大会の内容につきましては、こちらの要旨集をご覧ください。

## II 理事会開催報告

2015 年 11 月 20 日（金）の 17 時から、桐蔭横浜大学 J 棟 5 階教授会室にて、第 15 期第 3 回全国理事会が開かれ、総会に発議・報告する事案についての検討が行われました。開会時点において出席理事数 16 名、委任状提出理事 5 名の計 21 名であり、定足数を満たしていることが確認されました。

### 1. 審議案件は以下のとおりでした。

(1) 2014 年度一般会計決算案および 2014 年度特別会計決算案について城下会計理事より提議され、承認されました。(2) 2014 年度会計監査について、矢島監事より、会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。(3) 2015 年度一般会計補正予算案および 2016 年度一般会計予算案、2016 年度特別会計予算案について城下会計理事より提議され、承認されました。(4) 本庄渉外広報委員長より、国立情報学研究所電子図書館サービスを通じた学会誌の電子公開終了後の対応および、EBSCO 社を通じた学会誌の電子公開を見据えて、常任理事会の経過を踏まえ、投稿規定の改訂や学会誌に掲載された論文等の PDF ファイルを現代人文社から買い取ることに提議され、承認されました。(5) 本庄渉外広報委員長より、「若手研究者海外派遣補助事業」について、派遣場所に応じて補助の上限額と派遣人数をその都度決定すること、2016 年度については応募の締切を「2016 年 2 月末日」とすることが提議され、承認されました。また、出席者より、補助を受けた者はその成果を学会誌への投稿や大会での個別報告を通じて公表することが提案され、今後ウェブサイト等を通じて周知していくことが確認されました。(6) 石塚会長より、2017 年の日本犯罪関連学会ネットワーク合同大会の開催に向けて検討するため、石塚会長、渉外広報委員会を核に準備を進めていくこと、そのために渉外広報委員会の委員を小関委員に委嘱することが提議され、承認されました。

### 2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 学会奨励賞選考結果について土井政和奨励賞選考委員長より、審査結果が報告され、今回は受賞作なしとすることが報告されました。(2) 武内企画調整委員長より、2015 年度の犯罪学セミナーの日程、内容および広報の方法について報告されました。(3) 第 41 回大会（京都産業大学）会計報告として第 41 回大会の収支について、新大会実行委員長より報告されました。(5) 各部・委員会報告では、各部・委員会が 1 年間の活動について報告しました。最後に、石塚会長より、第 43 回大会開催校は甲南大学であり、大会実行委員長は前田忠弘会員であることが報告されました。

### Ⅲ 第 42 回大会総会開催報告

2015 年 11 月 21 日（土）に桐蔭横浜大学法学部棟 2 階 J201 教室にて 17 時 30 分から第 42 回大会総会が開かれました。本部事務局庶務部が開会を宣言し、総会議長に正木祐史会員と山本功会員が選出され、審議案件と報告事項は総会議長によって議事進行が行われました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。（1）2014 年度一般会計決算案および 2014 年度特別会計決算案について渡邊会計理事より提議され、承認されました。（2）2014 年度会計監査について、野田監事により、会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。

（3）2015 年度一般会計補正予算案および 2016 年度一般会計予算案、2016 年度特別会計予算案について渡邊会計理事より提議され、承認されました。（4）本庄渉外広報委員長より、国立情報学研究所電子図書館サービスを通じた学会誌の電子公開終了後の対応について、理事会での議論を踏まえて提議され、承認されました。（5）石塚会長より、2017 年の日本犯罪関連学会ネットワーク合同大会に本学会も参加することを念頭に準備を進めていくことが提議され、承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

（1）学会奨励賞選考結果について土井政和奨励賞選考委員長より、審査結果が報告され、今回は受賞作なしとすることが報告されました。（2）第 41 回大会（京都産業大学）会計報告として、第 41 回大会の収支について、実行委員長を務めた新会員より報告されました。（3）本庄渉外広報委員長より、2016 年度の「若手研究者海外派遣補助事業」について、北京で開催されるアジア犯罪学会に参加する者を対象に、5 万円を上限に 6 名まで派遣すること、応募締切を「2016 年 2 月末日」とすることが報告されました。（4）各部・委員会報告では、各部・委員会が 1 年間の活動について報告しました。次に、石塚会長より、第 43 回大会開催校は甲南大学であり、大会実行委員長は前田忠弘会員であることが報告されました。最後に、前田会員より第 43 回大会実行委員長として挨拶がなされました。以上の議事を終え、本部事務局庶務部が閉会を宣言しました。

### Ⅳ 第 43 回（2016 年度）大会 テーマセッション企画募集

第 43 回大会は 2016 年 10 月 29 日（土）、30 日（日）に甲南大学（兵庫県神戸市東灘区）で開催されます。研究委員会では、テーマセッションの企画を会員の皆様より募集します。犯罪社会学あるいは関連する周辺諸分野について現在関心をお持ちのテーマがありましたら、奮ってご応募ください。

なお、現時点では、テーマセッションの開催される日と時間帯は未定です。また、第 36 回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

●申込方法：電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| ・ Subject（件名）：テーマセッション申込み             |
| ・ 本文                                  |
| 申込者氏名：                                |
| 申込者所属：                                |
| 企画テーマ：                                |
| セッション形式：ラウンドテーブル・ディスカッション or ミニシンポジウム |
| プロジェクトの要否：                            |

●申込先アドレス：[hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp](mailto:hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp)

※学会事務局など、上記以外への申込みは、ご遠慮ください。

●申込期限：2016年3月15日(火) 必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員；作田誠一郎）

電子メールアドレス：[hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp](mailto:hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp)

●連絡事項：

\*セッションの時間は180分を予定しています。形式は、従来のラウンドテーブル・ディスカッション、ミニシンポジウムのどちらでも結構です。申込みの際、希望の形式をお知らせください。

\*報告者・話題提供者等は、申込みの段階では未定でも構いません。

\*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に申込者にご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

\*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。この連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、確認のご連絡をくださいますようお願いいたします。

## V 第43回（2016年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆様の自由報告を募集いたします。

●申込方法：電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

・Subject（件名）：自由報告申込み

・本文

申込者氏名：

申込者所属：

共同研究者氏名：

共同研究者所属：

報告タイトル：

プロジェクトの要否：

大会プログラムに掲載する報告概要原稿（150字以上200字以内）：

\*グループで申し込まれる場合、当日報告される方の氏名の前に「o」をつけてください。

\*申込者・報告者は会員に限ります。

●申込先アドレス：[hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp](mailto:hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp)

※学会事務局など、上記以外へのお申込みは、ご遠慮ください。

●申込期限：2016年6月1日(水) 必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員；作田誠一郎）

電子メールアドレス：[hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp](mailto:hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp)

●連絡事項：

\*自由報告は1名でもグループでも申し込めます。

\*申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の報告はできません。

\*1件の申込みにつき1つの報告となります。

\*会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。

\*報告時間は1件30分以内（報告時間：20分程度、質疑応答：10分程度）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。

\*申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。

\*提出された報告概要原稿は、原則として修正できません。

\*大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。

\*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に申込者にご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

\*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。この連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、確認のご連絡をくださいますようお願いいたします。

## VI 第15回（2016年度）「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため（特に若手研究者への刺激と登龍門として）、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2016年度は、著書が選考対象となる年です。2014年4月から2016年3月までに公表された、原則として満40歳以下の会員（受賞時点で会員であること）による著書の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2016年3月31日（消印有効）です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象著書を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募著書在中」とご明記ください。なお、応募された著書5部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名（フリガナ）、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象著書名、出版社名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

## VII 犯罪学セミナーの開催について

「犯罪学セミナー2016春 実務で使える犯罪学－質的犯罪社会学の最前線」を、2016年3月21日（月・祝）（9:00～16:30、受付8:45まで）に龍谷大学深草キャンパスにて開催します。本セミナーは、龍谷大学矯正・保護総合センターに後援を頂き、日本犯罪社会学会と文部科学省科学研



究費助成事業・新学術領域研究〔法と人間科学〕「犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究」との共催で行われます。

当日のプログラムは、下記の通りです。

岡邊健（山口大学）「質的／量的とは何か？——本セミナーの趣旨説明を兼ねて」

廣末登（NPO 法人市民塾 21）「ヤクザとは誰か？——ライフヒストリー研究」

作田誠一郎（佛教大学）「非行少年観の過去・現在・未来——メディア分析」

相良翔（埼玉県立大学）「社会内処遇現場での犯罪・非行からの立ち直り——参与観察」

上田光明（同志社大学）・武内謙治（九州大学）＋受講者「ディスカッション——  
報告内容をいかに実務・研究に活かすか？」

詳細については、「犯罪学セミナー2016 春」専用のウェブサイト

(<https://goo.gl/forms/WRTNzyTFo1>) をご覧ください。

## Ⅷ 日本犯罪関連学会ネットワークの活動について

日本犯罪学関連学会ネットワークは、2011年8月、第16回国際犯罪学会の神戸開催を契機に、犯罪学に関連する学術団体の情報交換の場として発足しました。これまで、年1回、情報交換の会議が開催されてきました。本年度は、日本社会病理学会（横山實会長）が幹事学会となり、犯罪学の研究と教育を活性化するため、より活発に活動することになりました。具体的には、2017年に複数の学会で合同学術大会を開催することを検討しています。この間、数回の打ち合わせ会を行い、実行委員会の組織、会場の選定など、具体的な検討をはじめています。

本学会においては、昨年の総会および理事会で、その方向性について諒とし、渉外広報委員会（本庄理事、小長井理事、小関委員）を主担当として、準備を進めていくことになりました。近日常に、日程・会場等の提案をさせていただく予定です。

会員のみなさまにおかれましては、ご協力の程、お願い申し上げます。（文責・石塚伸一）

なお、犯罪関連学会ネットワークは、現在、日本犯罪学会、日本犯罪心理学会、日本犯罪社会学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会および日本更生保護学会で構成されています。

## Ⅸ 各部・委員会報告

### 1 研究委員会

第43回大会は2016年10月29日（土）、30日（日）に甲南大学（兵庫県神戸市東灘区）で開催されます。詳細が決まりましたら、ニューズレターおよび学会ウェブサイトでお知らせします。

### 2 編集委員会

『犯罪社会学研究』40号が発行されました。皆様のご協力に感謝いたします。

『犯罪社会学研究』41号の自由論文・研究ノートの投稿締切りは2016年5月31日です。HPおよび最新の既刊号所載の投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。

本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの投稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付  
日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

[hanshahenshu16@gmail.com](mailto:hanshahenshu16@gmail.com)

### 3 渉外広報委員会

#### (1) 委員の就任

石塚会長からの依頼に基づき、犯罪関連学会ネットワーク合同学術大会に関する当学会の窓口を渉外広報委員会が務めることになりました。業務量の増大が見込まれることから、新たに小関慶太委員に渉外広報担当としてご活躍いただくことになりました。

#### (2) 研究会助成

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。本助成を申請する際には、事前に申請責任者の名前と住所ならびに所属、研究会の名称、助成を申請する研究会の開催日時・開催場所・内容（テーマ、タイトル等）を、渉外広報委員会までご連絡ください。連絡先は下記のとおりです。受付後、速やかに審査手続きを行い、採否を通知いたします。なお、研究会開催後の申請は受け付けておりません。採用が決定した際には、渉外広報委員会より助成金の振り込みを行います。後日、申請責任者には、領収書の提出等の事務手続きを担当していただきます。

今年度はあと2件の助成が可能です。相応しい企画がございましたら、是非積極的にご応募くださいませ。

連絡先：本庄武 ([t.honjo@r.hit-u.ac.jp](mailto:t.honjo@r.hit-u.ac.jp))

日本犯罪社会学会事務局 ([hansha@daishodai.ac.jp](mailto:hansha@daishodai.ac.jp))

#### (3) 若手研究者海外派遣補助事業について

本年6月に開催されるアジア犯罪学会北京大会で研究報告をされる若手研究者を対象として、渡航費用を補助いたします。共同研究者間でのセッション開催に対応できるよう、1人当たりの助成限度額を抑えつつ、募集人数を多めに設定いたしました。複数名でのご応募を歓迎します。こちらは2月末締切で募集中です。詳細については学会ホームページをご参照のうえ、奮ってご応募ください。

#### (4) 『犯罪学研究』掲載記事の電子公開について

従来、『犯罪社会学研究』掲載記事は、刊行から18か月経過後に国立情報学研究所電子図書館サービス（NII-ELS）に掲載され、データベース CiNii を通じて、広く一般に公開されてきました。ところがこのサービスが来年度には終了してしまうため（CiNii は継続します）、現在渉外広報委員会において、後継サービスの利用申請手続きを進めております。この件については決まり次第、本欄でお知らせいたします。

サービス移行に先立ち、出版社との間で協議の上、電子公開のタイミングを冊子刊行から12か月経過後に短縮することにしました。

また学会誌投稿規程（和文・英文）について、電子公開のタイミングを修正するとともに、公開先を従来の「国立情報学研究所電子図書館サービス」から、「本学会の指定する電子ジャーナル公

開システム」へと改めました。公開先については将来的な変更の可能性も考慮して、サービス名を特定しない書きぶりとしております。改定後の投稿規程については学会ホームページをご参照ください。

#### 4 本部事務局会計部

##### 会費納入のお願い

まだ2015年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 7,000 円

但し、院生会員 6,000 円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000 円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

#### 5 本部事務局庶務部

（1）献本（2015年7月26日～2015年12月25日現在）

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・海原卓著『刑壇に消ゆ-典獄・高橋良雄と12人の死刑囚-』株式会社日本経済評論社
- ・法務総合研究所編「平成27年度版犯罪白書」法務総合研究所

以上2冊

（2）会員数（2016年1月9日現在）

一般会員464名、名誉会員11名、終身会員1名、特別会員2団体、合計478名



※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間2回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

\*\*\*お願い\*\*\*

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

\*\*\*\*\*

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

\*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。

.....

付

日本犯罪社会学会2014年度一般会計決算

収入費目	内 訳	2014年度決算	2014年度補正予算	2014年度予算	
収入	学 会 費	通常会員数468名中453件(内一般420件、院生33件)95.3%、 3,138,000円 特別会員 龍谷大学矯正・保護 総合センター50,000円 日工組 社会安全財団200,000円	3,388,000	¥3,154,300	3,146,200
	寄 付 金	日立みらい財団100,000円、臨 時寄付5,000円	¥105,000	100,000	100,000
	機 関 誌 売 上 代	機関誌39号(12冊)	40,176	60,000	60,000
	広 告	現代人文社、学文社、法律文 化社、有斐閣各15,000円	60,000	60,000	60,000
	預 貯 金 利 息	ゆうちょ690円、銀行口座241円	931	1,000	1,000
	小 計		3,594,107	¥3,375,300	3,367,200
前 年 度 繰 越 金		3,858,021	¥4,122,721	3,687,183	
合 計		7,452,128	¥7,498,021	7,054,383	

支出費目	内 訳	2014年度決算	2014年度補正予算	2014年度予算	
支出	印 刷 費	ニュース・会合通知・資料等印刷、 コピー費	¥31,880	¥80,000	¥80,000
	通 信 ・ 交 通 費	ニュース・機関誌等郵送料、交通 費、連絡費	¥524,908	¥843,000	¥815,000
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業 打ち合わせ、部内研究会	¥26,439	¥60,000	¥60,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品、封筒等消耗品	¥232,224	¥255,000	¥183,000
	人 件 費	学会本部事務、ニュース・機関誌 発送アルバイト代等	¥173,900	¥290,000	¥350,000
	謝 金	大阪商業大学事務局への謝礼	¥0	¥18,000	¥18,000
	大 会 準 備 関 係 費	プログラムの印刷発送、大会準備 に要する費用	¥468,152	¥472,000	¥385,000
	大 会 報 告 要 旨 集	大会報告要旨集の印刷	¥426,384	¥300,000	¥300,000
	大 会 補 助 費	大会開催校への大会運営補助	¥100,000	¥100,000	¥100,000
	機 関 誌 買 上 費	vol.39機関誌作成経費、抜き刷り 印刷費	¥1,077,840	¥1,090,000	¥1,090,000
	選 挙 関 係 積 立 費	理事選挙費用、名簿作成のため の積立金	¥131,000	¥131,000	¥131,000
	そ の 他	労災保険料、慶弔費	¥507	¥1,000	¥1,000
	小 計		¥3,193,234	¥3,640,000	¥3,513,000
予 備 費 計		¥4,258,894	¥3,858,021	¥3,541,383	
合 計		¥7,452,128	¥7,498,021	¥7,054,383	

以上の通り、一般会計に関してご報告致します。

2015年11月21日

会計理事

城下 裕二



会計理事

渡邊 一弘



監査の結果、一般会計収支決算に誤りのないことを認めます。

2015年11月21日

監 事

矢島 正見



監 事

野田 陽子



### 日本犯罪社会学会2014年度選挙関係特別会計決算

収入費目	内 訳	2014年度決算	2014年度予算
選挙関係積立費	2013年度残高	455,805	455,805
	2014年度積立金	131,000	131,000
預貯金利息		113	100
合 計		586,918	586,905

支出費目	内 訳	2014年度決算	2014年度予算
選挙関係費	選挙文書送料,投票用紙・名簿印刷代等	309,511	-
積立金繰越金		277,407	586,905
合 計		586,918	586,905

### 日本犯罪社会学会2014年度奨励賞基金特別会計決算

収入費目	内 訳	収入額
寄付	なし	-
前年度繰越金		746,397
預貯金利息		116
収入合計		746,513

支出費目	内 訳	支出額
賞 金	副賞	100,000
通信・交通費	応募作送料	2,692
備品・消耗品費	祝儀袋代・賞状・賞状筒代(送料・代引き手数料込み)	4,698
支出小計		107,390
次年度繰越金		639,123
支出合計		746,513

### 日本犯罪社会学会2014年度研究基金会計決算

収入費目	内 訳	収入額
預貯金利息		298
前年度繰越金		1,954,817
収入合計		1,955,115

支出費目	内 訳	支出額
研究会補助費		40,000
通信・交通費	アジア犯罪学会大会実行委員補助費 振込手数料	1,404
補助費	アジア犯罪学会大会実行委員補助費	93,880
次年度繰越金		1,819,831
支出合計		1,955,115

以上の通り、特別会計に関してご報告致します。

2015年11月21日

会計理事

城下 裕二



会計理事

渡邊 一弘



監査の結果、特別会計収支決算に誤りのないことを認めます。

2015年11月21日

監 事

矢島 正見



監 事

野田 陽子



日本犯罪社会学会2015年度一般会計補正予算 2016年度予算

収入費目	内 訳	2016年度予算	2015年度補正予算	2015年度予算
収入	学 会 費	3,154,300	¥3,388,000	3,154,300
	寄 付 金	100,000	100,000	100,000
	機関誌売上代	60,000	60,000	60,000
	広 告	60,000	¥75,000	60,000
	預貯金利息	1,000	1,000	1,000
	小 計	3,375,300	¥3,624,000	3,375,300
前年度繰越金		4,245,921	¥4,122,721	3,858,021
合 計		7,621,221	¥7,746,721	7,233,321

支出費目	内 訳	2016年度予算	2015年度補正予算	2015年度予算
支出	印 刷 費	80,000	80,000	80,000
	通 信・交 通 費	1,051,600	¥1,187,800	892,000
	会 議・会 合 費	60,000	60,000	60,000
	備 品・消 耗 品 費	33,000	33,000	33,000
	人 件 費	350,000	350,000	350,000
	謝 金	18,000	18,000	18,000
	大会準備関係費	400,000	¥330,000	339,000
	大会報告要旨集	20,000	¥20,000	300,000
	大会補助費	100,000	100,000	100,000
	機関誌買上費	1,190,000	1,190,000	1,190,000
	選挙関係積立費	131,000	131,000	131,000
	そ の 他	1,000	1,000	1,000
	小 計	3,434,600	¥3,500,800	3,494,000
	次年度繰越金	4,186,621	¥4,245,921	3,739,321
合 計	7,621,221	¥7,746,721	7,233,321	

\*マークを付した箇所が補正予算による変更箇所

日本犯罪社会学会2016年度選挙関係特別会計予算

収入費目	2016年度予算 内訳	収入額	2015年度予算 内訳	収入額	2014年度決算 内訳	収入額
選挙関係積立金	2016年度積立金残高	408,507	2015年度積立金残高	277,407	2014年度積立金残高	455,805
	2017年度積立金	131,000	2016年度積立金	131,000	2015年度積立金	131,000
預貯金利息		100		100		113
合計		539,607		408,507		586,918

支出費目	2016年度予算 内訳	支出額	2015年度予算 内訳	支出額	2014年度決算 内訳	支出額
選挙関係費	選挙名簿作成、会員名簿作成(全額次年度へ繰越)	0	選挙名簿作成、会員名簿作成	0	選挙名簿作成、会員名簿作成(全額次年度へ繰越)	309,511
繰越金		539,607		408,507		277,407
合計		539,607		408,507		586,918

日本犯罪社会学会2016年度奨励賞基金特別会計予算

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2015年度寄付金残高	525,223
預貯金利息		100
収入合計		525,323

支出費目	内訳	支出額
通信交通費	著作物郵送代	4,000
備品消耗品費	祝儀袋、賞状代	10,000
賞金	¥100,000×1人	100,000
次年度繰越金		411,323
支出合計		525,323

日本犯罪社会学会2016年度研究基金特別会計予算

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2015年度繰越金	630,117
預貯金利息		100
収入合計		630,217

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費	40,000円×2件	80,000
若手研究者海外派遣補助事業	150,000円×2件	300,000
次年度繰越金		250,217
支出合計		630,217